

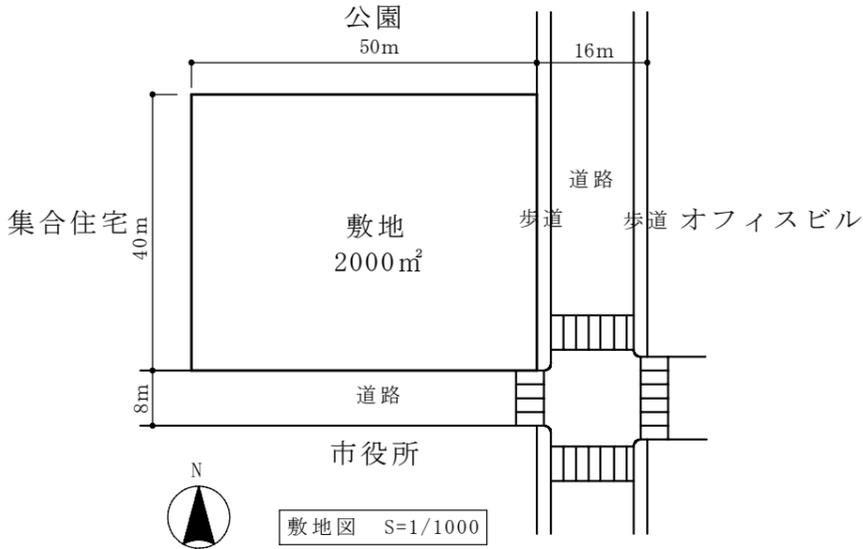
設計課題 小都市に建つ美術館

I 設計条件

この課題は、小都市近郊の市街地において、美術館を計画するものである。この施設は、市民にとって親しみやすく気軽に利用できるものとする。

1 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図の通りである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%（特定行政庁が指定した角地における加算等を含む）、容積率の限度は400%である。なお、日影についての特別な配慮はしなくてよい。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好である。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2 建築物

- 構造、階数等
鉄筋コンクリート造とし、地下1階、地上2階建ての1棟の建築物とする。
なお、地下1階には、設備スペースを計画するものとする。
- 床面積の合計
地下1階を除く床面積の合計は、2,000㎡以上、2,400㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	床面積	特記事項
展示部門	常設展示室	約 220㎡	・天井高は、5.0m以上とする。
	企画展示室	約 330㎡	・天井高は、5.0m以上とする。 ・作品の搬入動線に配慮する。 ・作品は壁面展示の巡回方式とする。
収蔵部門	収蔵庫	約 220㎡	・天井高は、3.5m以上とする。
	荷解室	適宜	・サービスヤード・車両寄付きスペースを設ける。 ・くん蒸室を設ける。
共用部門	エントランスホール	適宜	・風除室を設ける。 ・チケット売場を設ける。
	ミュージアムショップ	適宜	・ポスター、カタログ等を販売する。
	喫茶室	適宜	・屋外展示スペースからも出入りできるものとする。 ・屋内で40人程度が利用できるものとする。 ・カウンター、テーブル、いす等を設ける。
	映像シアター	適宜	・100人程度が利用できるものとする。
	図書室	適宜	・開架式とし、35人程度が利用できるものとする。
管理部門	事務室	適宜	・施設全体の管理・運営を行う。 ・4人程度の事務スペースを確保する。
	館長室	適宜	
	学芸員室	適宜	・展示の調査・研究を行う。
	資料室	適宜	・学芸員の資料を保管する。
適宜	守衛室	適宜	・展示物の出入りの監視を行う。
	設備スペース	適宜	・採用した設備計画に応じて、電気・機械室、屋外機置場等を計画する。

・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。
・その他必要と思われる室等は、適宜計画する。

3 その他の施設

- 屋外展示スペースは、次のとおり計画する。
 - 地上に設けるものとし、まとまったスペース（直径10m以上の円が1つ入るスペース）で250㎡以上（ピロティ、上部に屋根、ひさし等がある部分は算入しない）とする。
 - 屋外展示スペースは、入場は無料とし、公園から出入りできるものとする。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす利用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。また、他の利用者・職員の駐車場については、近隣の駐車場を利用するものとする。
- 駐輪場は、利用者用として20台（1台当たり0.5m×2m程度）を設ける。
- 敷地内の主要な通路に設けるスロープは、幅を1.5m以上、勾配を1/15以下とする。
- ごみ置場を設ける。
- (1)～(5)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4 計画に当たっての留意事項

計画に当たっては、特に次のことが求められている。

- 建築計画については、次の点に留意する。
 - 展示部門、収蔵部門、共用部門、管理部門の異なる機能を適切にゾーニングした計画とするとともに、動線に配慮した計画とする。
 - 建築物の環境負荷低減に配慮した計画とする。
 - 敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画する。
 - 構造種別、架構形式、スパン割を適切に計画する。
 - 耐力壁等を設け、耐震に配慮する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - 排煙設備を適切に設ける。
 - エレベーターを適切に設ける。

II 要求図面等

答案用紙I及び答案用紙IIの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼配置図 1/200	① 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)を記入する。 ② 室名等を記入する。 ③ 耐力壁等を記入する。
(2) 2階平面図 1/200	④ 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]を図示又は記入する。 ⑤ 設備計画に応じた設備スペースを図示又は記入する。 ⑥ 断面図の切断位置を記入する。 ⑦ 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. ドライエリアの位置 ハ. 地下1階部分(位置を破線で図示し、床面積を記入する。) ニ. 駐車場(台数及び出入口を明示する) ホ. 駐輪場(台数を明示する) ヘ. ごみ置場 ト. 通路・植栽等 ⑧ 常設展示室、企画展示室、収蔵庫、荷解室、喫茶室、映像シアター、図書室、事務室、学芸員室、資料室の面積を記入する。 ⑨ 企画展示室には巡回経路を点線で図示する。 ⑩ 屋外展示スペースには面積を記入する。 ⑪ 直下階の屋根、ひさし等となる部分を図示する。
(3) 断面図 1/200	① 切断位置は、企画展示室を含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 梁及びスラブの断面、基礎を図示する。
(4) 2階梁伏図 1/200	① 2階から見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・断面寸法を追加する。なお、梁に鉄骨を使用した場合の断面寸法は、H-○×○のように記入する。

2 面積表(答案用紙Iに記入)

各階の床面積、その合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3 計画の要点等(答案用紙IIに記入)

- 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図書では表せない部分についても記述する。
 - 建築物の外部動線及び内部動線について、配慮したこと
 - 敷地の周辺環境に配慮したこと
 - 避難計画について、配慮したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図書では表せない部分についても記述する。
 - 建築物の構造種別、架構形式及びスパン割とこれらを採用した理由
 - 耐震計画について、配慮したこと
- 設備計画について、次の①～④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図書では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した空調方式と採用した理由
 - 企画展示室の照明計画(照度、配置等)について、配慮したこと
 - 排煙計画について、配慮したこと
 - 防災設備について、配慮したこと
- 建築物の環境負荷低減(熱負荷の抑制、省エネルギー等)について、配慮したことを具体的に記述する。